

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科校内研修支援事業」

実施報告

北広島市立東部小学校

*学級数 15 *児童数 364

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道千歳高等学校(定)	教諭	山内 由紀朗	化学

【本事業のねらい】

理科の指導においては、使用する化学薬品の性質を正しく認識していなかったり、実験器具の使い方や実験操作を間違えたりすることにより、思いもよらない危険な状態になるおそれがあるので、薬品の性質や扱い方に関する正しい知識を身に付ける必要がある。安全に実験を行わせ、理科学習の充実を図るために、教員の指導力の向上を目的に実施した。

【実施内容】

12月11日15:00~16:30、北広島市立東部小学校理科室において、27名の教員を対象に、「実験の仕方と安全指導」について実技研修を行った。アルコールランプの取扱い等、事故の防止、実験の準備や後片付けについて理解を深めた。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・たいへん勉強になりました。「理科の実験の準備や後片付けが大変である」という思い込みがなくなりました。ぜひ、実際の授業に生かしたいと思います。
- ・さすがに専門の先生でした。私たちが見落としがちな器具の操作の注意点を詳しく教えていただきました。アルコールランプの取扱いの説明がとてもわかりやすかったです。
- ・これまで恐る恐るしていた薬品の扱いは、それほど怖がらなくてもよいとわかりました。積極的に実験で扱っていきそうです。ありがとうございました。
- ・実験器具等の危険の少ない扱い方について、改めて確認することができました。児童の興味が湧く理科の実験を実施してみたいと思います。

【来年度以降の実施に向けて】

本校教諭へのアンケート調査結果から、栽培を中心とした植物教材を扱う活動について研修したいと考えている。